

夢や希望をもち、自分から行動する子どもの育成



立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。早いもので3学期がスタートして半月が経ちました。短い3学期の日々を大切にしながら、晴れやかな年度の締めくくりを目指して教育活動を推進しているところでございます。どうぞ、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2学期末に今年度の学校教育活動に関するアンケートをご依頼申し上げましたところ、ご多用な時節にもかかわらず、たくさんのご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。保護者の皆様から賜りました評価は、教職員自身の評価、児童へのアンケート調査、学校評価者(学校評議員)からの評価と合わせまして、以下の通りまとめさせていただきました。また、保護者の皆様からお寄せいただいた「記述による評価」は、総数185件にも及びました。紙面の関係で一部しかご紹介できませんでしたが、多岐にわたるご意見やご要望、ご示唆は、大変貴重なものとして受け止めております。今後の教育活動の改善に生かし、次年度の教育計画を構想するための重要な資料とさせていただいております。

子どもたちの1年間の変容や成長を的確に把握し、本年度の重点目標である「夢や希望をもち、自分から行動する子どもの育成」を完結してまいります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

令和 2年 2月 3日

旭川市立緑が丘小学校 校長 橋本 憲二

1 評価者について

- ①今回の学校評価は、教職員(21)による自己評価のほか、児童(244)、保護者(185)及び、学校評価者(学校評議員)(4)のアンケート調査への協力で実施しました。
- ②評価項目(評価の観点)については、その内容によって「教職員」「学校評価者」に限定したものもあります。また、児童の評価観点は、発達段階に応じた設問の文章表記としています。

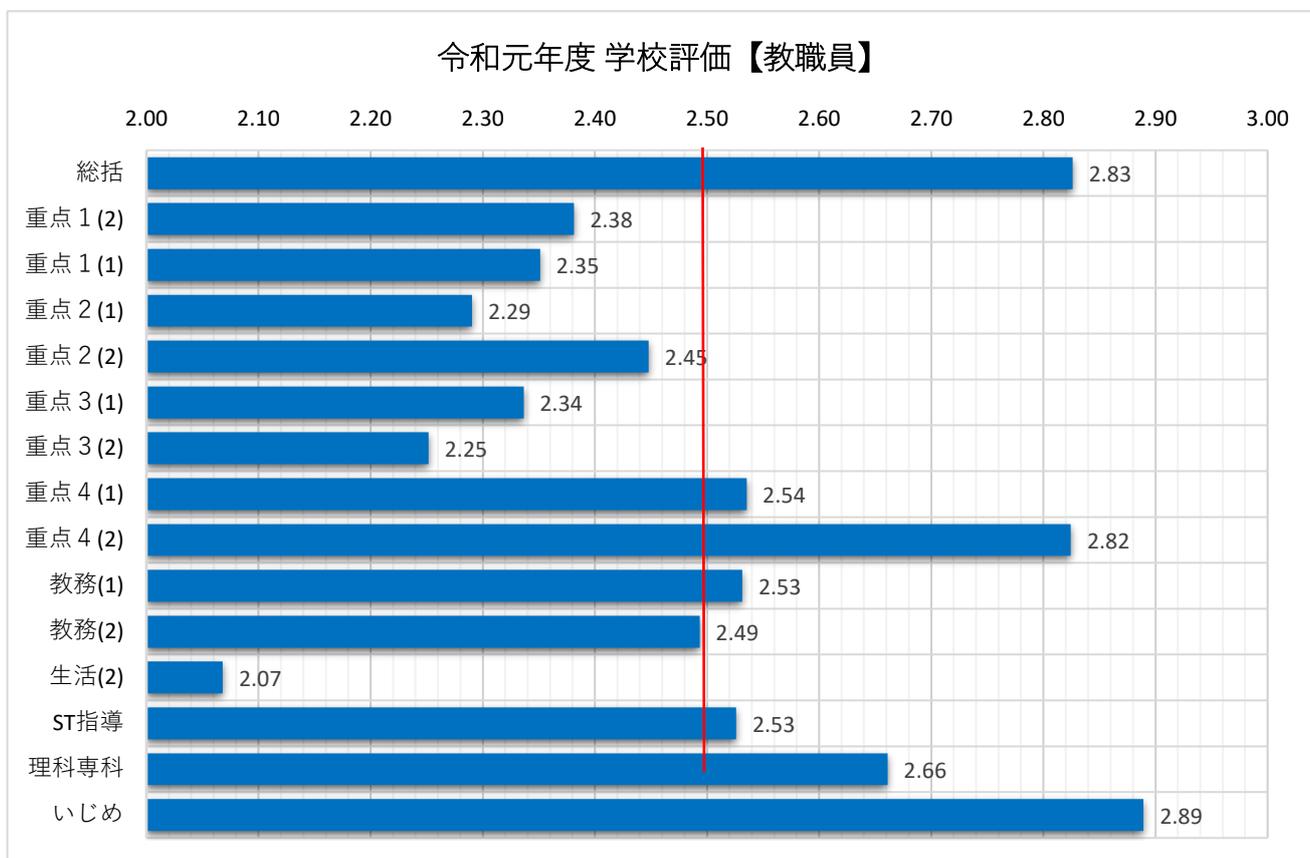
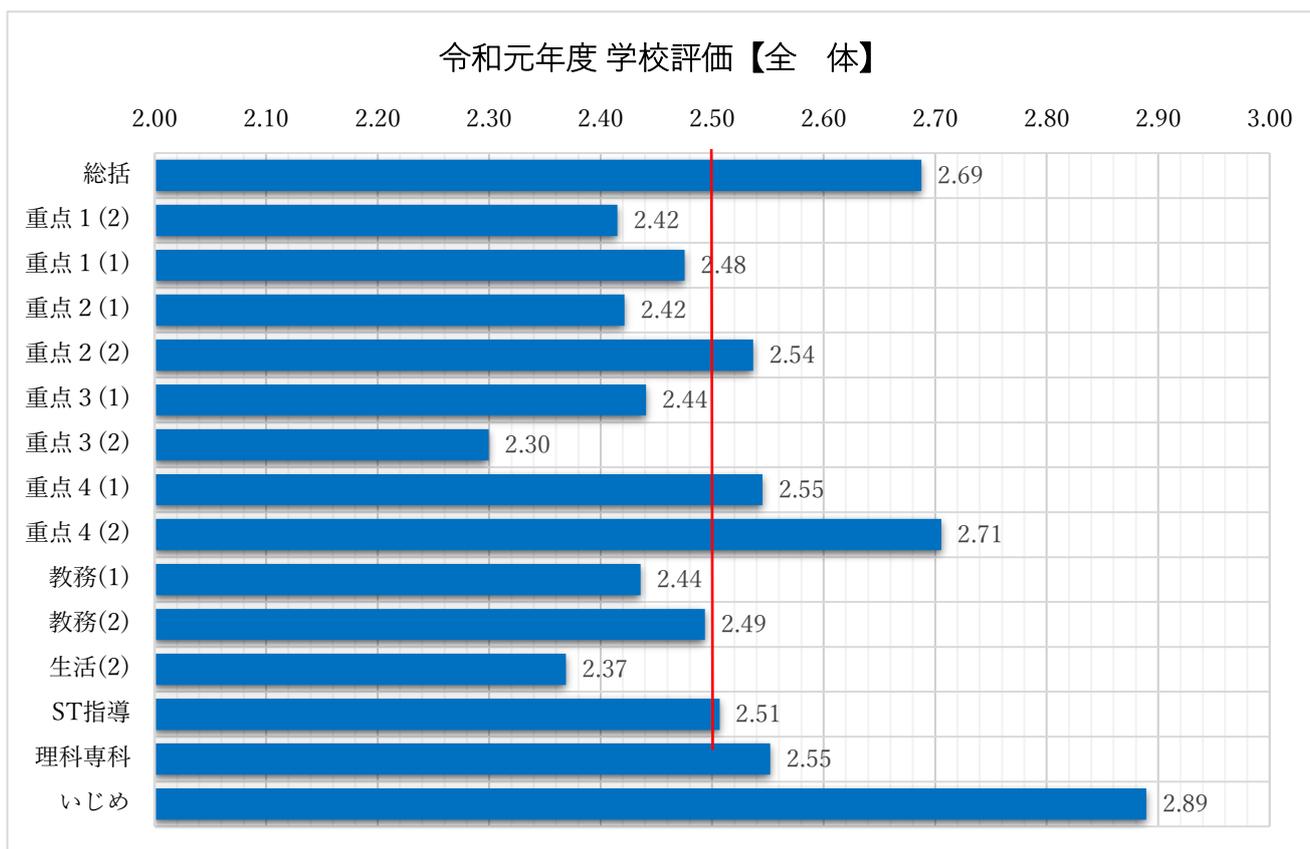
2 評価項目・評価の観点について

項目	評価の観点
総括	【年度の重点目標:夢や希望をもち、自分から行動する子どもの育成】 本校の児童は、学校生活を楽しんでいる。
重点1(1)	【学校教育目標「考える子ども」:確かな学びづくり】 本校の児童は、自分の学習に自信を付けている。
重点1(2)	【学校教育目標「考える子ども」:確かな学びづくり】 本校の児童は、学習したことをよく理解し、身に付けている。
重点2(1)	【学校教育目標「豊かな子ども」:豊かな心づくり】 本校の児童は、自分の行いやくらしを高めようとしている。
重点2(2)	【学校教育目標「豊かな子ども」:豊かな心づくり】 本校の児童は、互いに思いやり、助け合って活動している。
重点3(1)	【学校教育目標「強い子ども」:健康な体力づくり】 本校の児童は、体づくりに進んで取り組み、運動の成果や体力の高まりを感じている。
重点3(2)	【学校教育目標「強い子ども」:健康な体力づくり】 本校の児童は、けじめのある生活や健康な生活を身に付けている。
重点4(1)	【学校体制づくり】 教職員は、重点目標の実現と教育の充実のために、協働して取り組んでいる。
重点4(2)	【学校体制づくり】 教職員は、子どもの話を聞き、真っ直ぐに向かい合っている。
教務(1)	【学校体制づくり】 教職員は、児童の学習習慣の定着を図っている。
教務(2)	【授業改善】 認め合いを取り入れた授業改善により、自己肯定感を高める学習指導を工夫している。
生活(2)	【児童の実態】 本校の児童は、生活のきまり(緑小っ子のくらし等)を守っている。
少人数指導	【少人数指導の成果】 本校の児童は、算数の学習に意欲的に取り組み、自信を深めている。
理科専科指導	【理科専科指導の成果】 本校の児童は、理科の学習に意欲的に取り組み、自信を深めている。
いじめ防止対策	【いじめ対応】 教職員は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめを適切に認知し迅速かつ組織的に対応している。

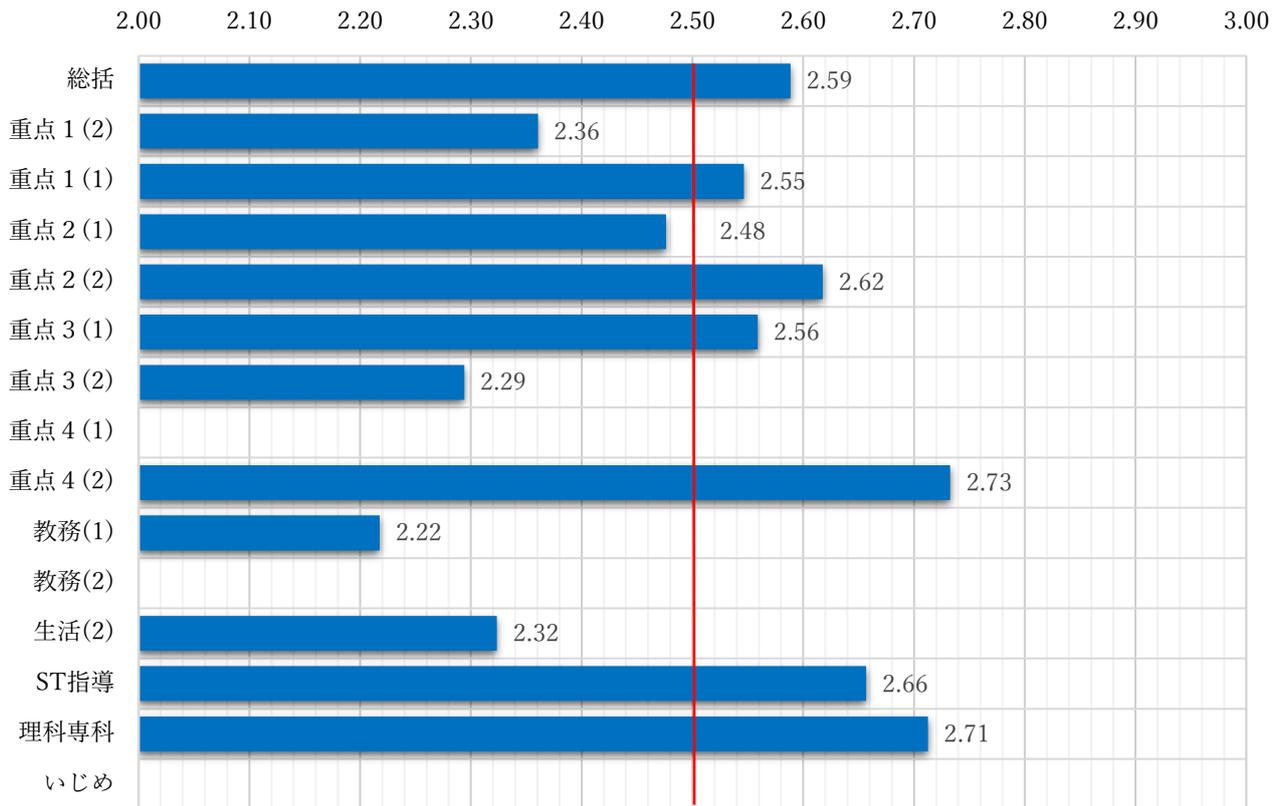
3 評価の規準について

- ①各評価者には、そう思う(4ポイント)、ややそう思う(3ポイント)、あまり思わない(2ポイント)、思わない(1ポイント)の4段階で評定してもらいました。
- ②集計結果については、評価者ごとの比較条件を平準化するために、中央値を2.50ポイントとし、標準化しています。つまり、2.50ポイントがちょうど全項目で規準となりますので、これとの増減により各評価を比較することができます。また、全ての評価者グループの規準を2.50にそろえることで、他のグループとの比較を容易としております。

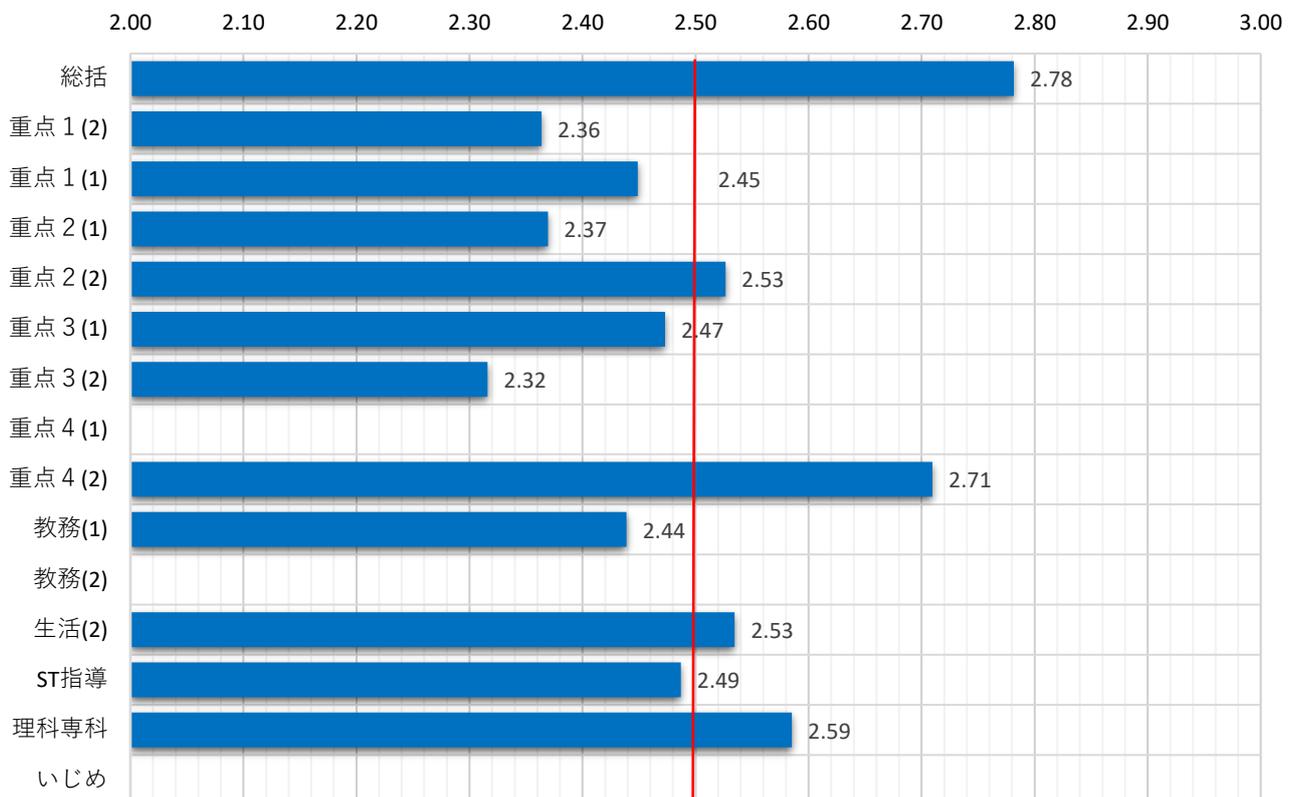
4 各評価結果について



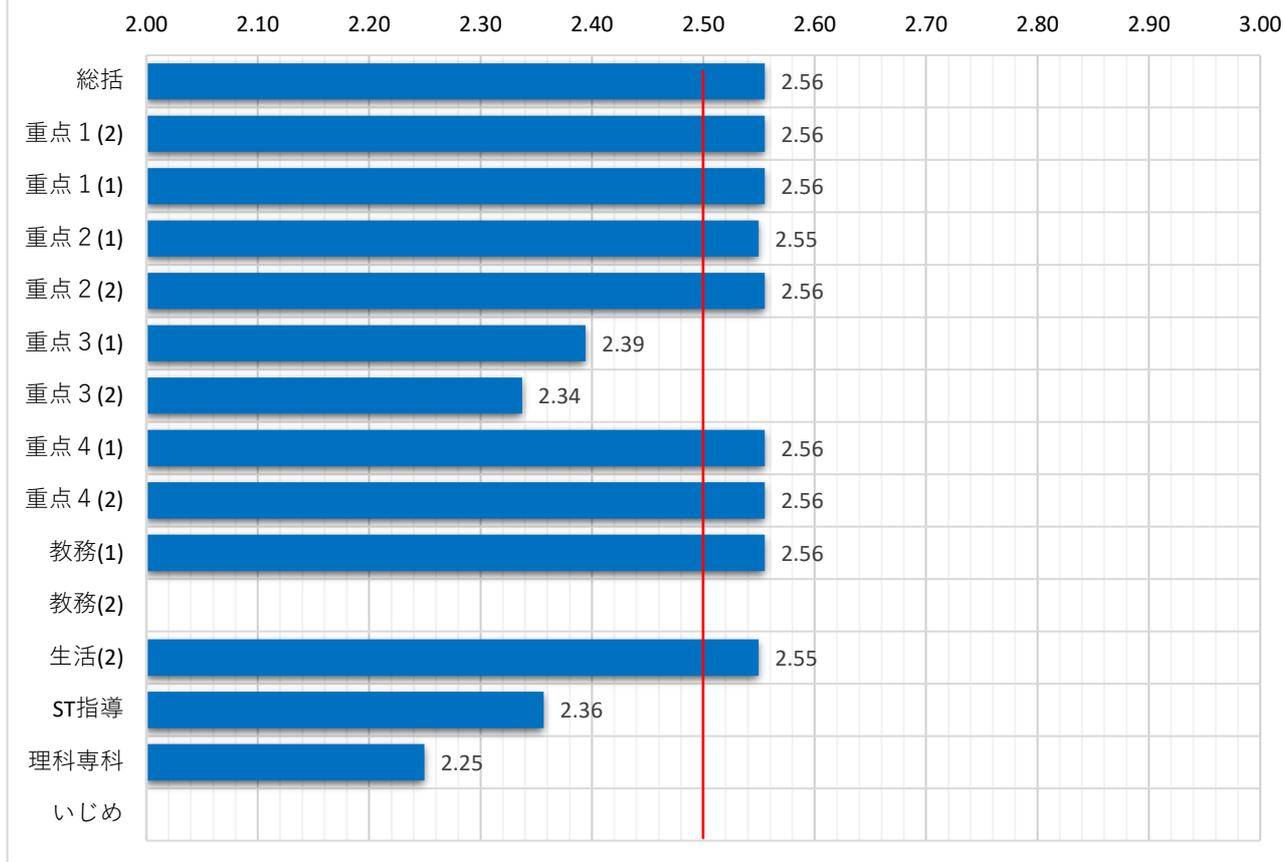
令和元年度 学校評価【児 童】



令和元年度 学校評価【保護者】



令和元年度 学校評価【評議委員】



5 項目ごとの分析結果について

〔教〕:教職員から 〔保〕:保護者から 〔□年児〕:児童から 〔評〕:学校評議委員からの記述評価

【1】 総括	【年度の重点目標:夢や希望をもち、自分から行動する子どもの育成】 本校の児童は、学校生活を楽しんでいる。	
	主な 記述 評価	〔教〕2学期は、1学期以上に楽しく笑顔で過ごしている子が多かったように思う。学芸会などで、協力して一つのものをつくり上げるという良い経験ができたのではないかな。 〔5年児〕学校に来た時にやる気が出る面白いことをやってほしい。 〔保〕学校へ行くのが楽しく、先生にほめられるとやる気を出しますますががんばっています。できることへの喜びとやる気をますます導いてほしいと思います。 〔保〕学校での話を家でよくしています。学習以外の係活動、クラブ活動の話から、友だちや先生と意欲的に楽しく取り組んでいると日々感じています。
考察・今後の改善	昨年度に引き続き高い評価となりました。とくに、保護者からはお子さんが楽しく学校生活を送っていることに対する安心と喜びの声が多く寄せられました。今後も子どもたちの「夢や希望にあふれる」学校生活のために新鮮で魅力ある教育活動の推進に努めます。	

【2】 重点1(1)	【学校教育目標「考える子ども」:確かな学びづくり】 本校の児童は、自分の学習に自信を付けている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.38</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.55</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.38	児童	2.55	保護者	2.45	評議委員	2.56	主な記述評価 [2年児]もっと勉強がしたい。 [保]「最近ハマっていることは勉強です」とクラスで言っても、「へえ〜」と感心される学級の雰囲気感謝です。そもそもみんなの前でそんなことを言えるなんて娘にとって居心地がいいんだと感じずにはられません。 [評]授業中も積極的な発言が目立ち、自信をもって学習している様子がうかがえます。
評価者	評価値										
教職員	2.38										
児童	2.55										
保護者	2.45										
評議委員	2.56										
考察・今後の改善	前年度は低い評価であったことから、本年度は、「よさを認め」「頑張りを励まし」「成果を喜ぶ」指導を重点的に行ってきた結果が現れています。特に子供たち自身の評価が高くなり、自己有用感や自己肯定感を高めてきていることが大きな成果です。										

【3】 重点1(2)	【学校教育目標「考える子ども」:確かな学びづくり】 本校の児童は、学習したことをよく理解し、身に付けている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.35</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.36</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.36</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.35	児童	2.36	保護者	2.36	評議委員	2.56	主な記述評価 [保]先生より本人に出来ている所や出来ていない所をフィードバックされる為、できている事を認められると自然に本人の自信となっていますし、できていない所は本人の中でできていない事を理解している為、私に「～ができなかった。」と言ってくる為、家庭勉強にて振り返るようにしています。 [保]子どもが苦なく取り組める量の復習プリントを用意して下さっているため、授業や学習内容をその都度振り返ることができています。
評価者	評価値										
教職員	2.35										
児童	2.36										
保護者	2.36										
評議委員	2.56										
考察・今後の改善	教職員と保護者、子供たち自身の評価は厳しいものとなりました。しかし、学力調査や学力テストの結果では、十分な学力が定着していることが確認できています。強い向上心や高い目標設定からの厳しい評価結果とも推測されます。										

【4】 重点2(1)	【学校教育目標「豊かな子ども」:豊かな心づくり】 本校の児童は、自分の行いやくらしを高めようとしている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.48</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.37</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.55</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.29	児童	2.48	保護者	2.37	評議委員	2.55	主な記述評価 [5年児]掃除の反省で発表する人が少ないので週に1度は発表した方がいいと思う。 [保]毎朝自分で決めた6時に起床して、食事、用意など、自ら行っています。学校へも楽しそうに通っているため、学校でのご指導が行き届いていると、安心して見守っています。 [保]係活動には意欲的で、自分のやっている事や困っている事などよく話してくれます。自分の役割をもたせてくれることは、すごく良いと思います。 [評]自主的、実践的態度の育成では、学芸会や運動会等の参観を通して感じる事ができました。
評価者	評価値										
教職員	2.29										
児童	2.48										
保護者	2.37										
評議委員	2.55										
考察・今後の改善	教職員と保護者からの評価が低く留まりました。今年度の重点目標にもあるとおり「自分から行動する子ども」に育ってもらいたいという教職員と保護者の願いが現れていると思われます。今後も主体性や自主性を伸ばす指導を進めてまいります。										

【5】 重点2(2)	【学校教育目標「豊かな子ども」:豊かな心づくり】 本校の児童は、互いに思いやり、助け合って活動している。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.62</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.53</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.45	児童	2.62	保護者	2.53	評議委員	2.56	主な記述評価 [1年児] みんなと仲良く活動をしよう。みんなと仲良しになる。 [2年児] みんなが笑顔になってほしい。元気な学校にしたい。 [5年児] 全校で遊ぶ機会、集会などをふやしたらいいと思う。他学年との関わりを増やした方がいいと思う。 [保] 他の子供(友達)の悪口を1回も言ったことはありません。 [評] 何時も感じていることですが、学校行事等に於いて一つの目標に向かってクラス全員で成し遂げようとする気持ちが伝わってきます。
対象	評価										
教職員	2.45										
児童	2.62										
保護者	2.53										
評議委員	2.56										
考察・今後の改善	本校児童の特筆すべき長所として、互いを尊重し合う意識と協調性が高く、これが学校生活や人間関係を充実させるための大切な素地となっています。グローバル化が進展するこれからの社会を生きていく子供たちには、様々な国や地域、文化圏の人とたちとも理解し合い、協力し合っていくために大切に育んでいかなければならないと考えます。										

【6】 重点3(1)	【学校教育目標「強い子ども」:健康な体力づくり】 本校の児童は、体づくりに進んで取り組み、運動の成果や体力の高まりを感じている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.34</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.56</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.47</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.39</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.34	児童	2.56	保護者	2.47	評議委員	2.39	主な記述評価 [教] 少年団などに参加している児童や家族で運動に親しむ環境にある児童と、メディアに接触する時間が長く、運動の時間が短い児童との二極化を感じる。そんな「運動ネガティブ」な児童に基礎的な運動能力の向上と運動の喜びを体感させる必要がある。 [教] マラソン記録会や長縄大会に向けて、とても意欲的に取り組んでいる子が多かった。普段運動が苦手な子も、めあてに向かって頑張っていた。 [2年児] 体育をもっとふやしてほしい。 [保] 跳び箱や縄跳びがどんどん上手に出来るようになってとても喜んで家でも一生懸命練習をしています。
対象	評価										
教職員	2.34										
児童	2.56										
保護者	2.47										
評議委員	2.39										
考察・今後の改善	児童は、「マラソン」「長縄とび」などの取組を契機に運動に親しみ、体力の高まりを感じているようです。今後も自分に合った適切な運動量で、仲間とともに励まし合ったり、ときには競い合ったりして運動の楽しさや必要性を実感させる指導を進めます。										

【7】 重点3(2)	【学校教育目標「強い子ども」:健康な体力づくり】 本校の児童は、けじめのある生活や健康な生活を身に付けている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.25</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.29</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.32</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.34</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.25	児童	2.29	保護者	2.32	評議委員	2.34	主な記述評価 [5年児] 緑小スタンダードなどのきまりを全校児童が守れるようにもって委員会で話し合ってもらいたい。きまりを知らない人がいない学校にしたい。 [保] 帰宅後の手洗いうがいや早寝早起きなどきまりをまもろうとしています。 [保] 毎日自分で決めた6時に起床して食事、用意など自力行っています。…中略…安心して見守っています。 [評] 住民センターで、自分の靴を揃えたり、挨拶をしっかりとしたり、落ち着いた態度の子どもの姿に出会えて嬉しいです。
対象	評価										
教職員	2.25										
児童	2.29										
保護者	2.32										
評議委員	2.34										
考察・今後の改善	全体的に低い評価となりましたが、本校児童の「短所」としてではなく、「課題」「目標」と捉えています。記載しきれませんでした。児童からは、校内規律の重要性や集団生活の心得に関する記述がたくさんあり、意識は高いことがわかります。学習や健康維持はもちろんのこと、あらゆる活動や取組において、適切なけじめや規律は、成果や効果を高めることにつながります。										

【8】 重点4(1)	【学校体制づくり】 教職員は、重点目標の実現と教育の充実のために、協働して取り組んでいる。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.54</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.56</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.54	児童	2.56	保護者		評議委員	2.56	主な記述評価 〔年児〕先生をもっと増やしてほしい。 〔教〕全ての教職員がそれぞれの持ち場で一生懸命だと感じる。 〔教〕新たな指導内容が次々と盛り込まれ、児童の課題も複雑困難化する現状では、学級担任が単独で学級の全ての児童に責任ある指導をすることは困難。全教職員が、経験値や特性と専門性を生かす組織マネジメントが必要である。 〔評〕子供たちのために先生だけでなく、PTAも協力致しますので、今後ともよろしく願っています。
対象	評価										
教職員	2.54										
児童	2.56										
保護者											
評議委員	2.56										
考察・今後の改善	教職員が、その力量を十分に発揮して、質の高い教育活動を実践するためには、子供たちや保護者と地域の方からのご理解とご協力は不可欠です。今回、保護者や評議委員の皆様からは、励みとなる肯定的な評価を数多くいただき、職務に対する信念と使命感を高めています。										

【9】 重点4(2)	【学校体制づくり】 教職員は、子どもの話を聞き、真っ直ぐに向かい合っている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.73</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.71</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.82	児童	2.73	保護者	2.71	評議委員	2.56	主な記述評価 〔教〕受容的な態度で児童に接し、休み時間は一緒に遊び、清掃時間は一緒に清掃をしています。 〔保〕先生がクラス全体はもちろん、一人一人の話を良く聞いて下さり、子供も迷った時、困った時に先生に声をかけることができているようで、感謝しています。 〔保〕今まで関わったどの先生も子どものことをよく見ていてくれていると感じます。子どもが楽しく通えているし、日々の成長も感じられます。 〔評〕元気な子、真面目な子が多く、先生とのコミュニケーションがしっかりと取れている環境をご提供されている先生方に感謝しております。
対象	評価										
教職員	2.82										
児童	2.73										
保護者	2.71										
評議委員	2.56										
考察・今後の改善	全体で 2.71 と高い評価となりました。教育活動の原点は、一人一人の子供たちとしっかり向かい合うことにあります。今後も学校全体で一人一人の子供たちを大切にしている教育活動を最重点としてまいります。										

【10】 教務(1)	【学校体制づくり】 教職員は、児童の学習習慣の定着を図っている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.53</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.22</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.44</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.53	児童	2.22	保護者	2.44	評議委員	2.56	主な記述評価 〔教〕宿題の未提出はなく、学習する習慣を身に着けることについては成果が出ていると考える。とりあえず、学習のレベルを上げる取り組みがあると嬉しい。 〔教〕家庭学習(宿題)は個人差が大きく、未定着の子の指導に苦労しています。 〔保〕家での学習が、なかなか定着しない。学校での学習と宿題で満足してしまっている様子…。ゆっくり見てあげる時間も毎日とるのがむずかしく親も努力しなければと感じます。 〔保〕家庭学習の取り組みが良い意味でプレッシャーとなり自発的に行っています。
対象	評価										
教職員	2.53										
児童	2.22										
保護者	2.44										
評議委員	2.56										
考察・今後の改善	児童の自己評価が低いのは、児童設問に「決めた時間に学習をしているか」との限定があったため、厳しくなったのかもしれませんが、各ご家庭からいただいた記述評価からも個人差が著しいことが伺えますので、ご家庭との連携を取りながら改善に努めてまいります。										

【11】 教務(2)	【授業改善】 認め合いを取り入れた授業改善により、自己肯定感を高める学習指導を工夫している。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.49</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.49	児童		保護者		評議委員		主な記述評価 [保] 授業参観など、子どもたちがしっかりと発言・発表し、正解だけでなく、まちがう事も大切にして授業をしてくださっているように感じます。そのおかげで、まちがいをこわがらずに、話せるようになってきていると感じます。 [教] 校内研究で取り組んできた道徳における「主体的・対話的な深い学び」の視点を他教科の授業改善にも波及させていかなければならない。
評価者	評価値										
教職員	2.49										
児童											
保護者											
評議委員											
考察・今後の改善	今年4月からの次期学習指導要領の完全実施に向け、授業改善はもとより、全教育活動の総合的な見直しを進めています。教員の指導力の向上や外国語、プログラミング教育などの新たな学習内容に応じるソフトとハードの両面で改善を進めております。										

【12】 生活(2)	【児童の実態】 本校の児童は、生活のきまり(緑小っ子のくらし等)を守っている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.53</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.66</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.49</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.36</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.53	児童	2.66	保護者	2.49	評議委員	2.36	主な記述評価 [教] 毎回書いている気がしますが、挨拶や廊下歩行など個人差がとても大きいように感じます。日常的な指導を根気強く続けるしかないかと思えます。 [教] 宿泊学習や修学旅行で、主体的な判断による適切な行動が取れる子供たちである。 [3年児] 悪いと思うことはすぐにやめる。見かけたら注意する。 [5年児] 挨拶がもっとふえるといい。 [保] 子供が学校での決まり事を守っているから(評価4)です。
評価者	評価値										
教職員	2.53										
児童	2.66										
保護者	2.49										
評議委員	2.36										
考察・今後の改善	児童の自己評価が、前年度に比べ大幅に向上しました。集団生活の中での規範意識や自制心の向上、公共心の醸成等を課題として取り組んできた成果といえます。さらに、その結果として生徒指導上の問題行動やトラブルなどもほとんどありませんでした。										

【13】 ST 指導	【少人数指導の成果】 本校の児童は、算数の学習に意欲的に取り組み、自信を深めている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.66</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.71</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.59</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.25</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.66	児童	2.71	保護者	2.59	評議委員	2.25	主な記述評価 [教] 算数に苦手意識のある子が1年を通して自信をもって問題に取り組むようになった。年度当初は「あきらめる様子」が見られたことを考えると大きな進歩と考える。ほかの学習にも好影響。 [6年児] 苦手な教科の ST があつたらいい。苦手な教科に取りくめる教室を作してほしい。 [保] 以前は、算数のひき算の学習に少し苦戦している様子でしたが、最近では「算数が好きになった」と話しており、実際に問題を解くスピードも早くなり、ケアレスミスも少なくなってきました。 [保] ST の先生がとてもわかりやすく指導していると聞いているし、テストにもその成果がでている。
評価者	評価値										
教職員	2.66										
児童	2.71										
保護者	2.59										
評議委員	2.25										
考察・今後の改善	前年度に引き続き、一定の高評価を維持しています。算数における複数による指導や習熟度別の少人数指導等は、個々の児童にきめ細かな指導を講じることが可能となり、大変学習効果があります。今後も ST 指導担当教師の配置を関係機関(北海道教育委員会)へ強く求めていきます。										

【14】理科専科指導	【理科専科指導の成果】 本校の児童は、理科の学習に意欲的に取り組み、自信を深めている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.66</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.71</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.59</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.25</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.66	児童	2.71	保護者	2.59	評議委員	2.25	主な記述評価 [教]教材研究や実験準備等の授業準備がしっかりしているため、児童も興味・関心をもって授業に参加している。 [保]学習内容が興味深く、楽しいそうです。 [保]専任の理科の先生がいることで、より実験とかも充実してより子供達の理科への感心が高まると思います。
評価者	評価値										
教職員	2.66										
児童	2.71										
保護者	2.59										
評議委員	2.25										
考察・今後の改善	学校運営と学習指導上の理科専科のメリットは、理科の教材研究や実験の準備等を理科専科が担うことで授業の質を高め、また、3年以上の担任は学級児童に関する業務を充実することができる点にあります。しかし、理科専科も ST 指導担当も加配(正規の規定数を越えて配置された教職員)であり、不安定なものです。継続して配置を受けるために、さらに効果を上げ、児童と保護者からの高い評価をいただかなければなりません。										

【15】いじめ防止対策	【いじめ対応】 教職員は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめを適切に認知し迅速かつ組織的に対応している。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.89</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>教職員のみ</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.89	児童	教職員のみ	保護者		評議委員		主な記述評価 [4年児]いじめ防止のポスターなどを貼るといい。 [3年児]相手のことや自分の気持ちをよく考える。 [保]子ども同士のトラブルがあった際、された側の親にのみ伝え、した側の親が知らないことが多いように感じます。お互いに知らせた方が、後のためにも良いと思います。 [教]アンケートや児童会の活動等、日頃より防止につとめ、いじめが認められた場合には、教職員間で組織的に対応できるような体制をとっている。 [教]保護者や児童の訴えがあった時には、管理職および主幹の先生方が組織的に対応にあたっています。
評価者	評価値										
教職員	2.89										
児童	教職員のみ										
保護者											
評議委員											
考察・今後の改善	本校の職員と児童は、「いじめ防止基本方針」にもとづき、「いじめ問題」は該当する子供だけの問題ではなく、学級、学年、学校全体に関わる問題として認知し、いじめの予兆すらも見逃さない一丸となった組織体制をつくっております。本年度は、いじめにつながる可能性がある事案1件について、全教職員で継続して注意を払っています。児童会も「いじめをなくそう運動」など、主体的な取組を進めています。また、インターネットを介したいじめについても指導をしておりますが、学校を離れた場面で行われる「いじめ」や「トラブル」の防止については、ご家庭の適切なご指導と取組をよろしくお願いいたします。										

以上のほか、児童からは、寒暖対策やトイレの改修・営繕、遊具の充実などの学習環境と生活環境の改善、また、給食メニューに関する要望が多く出されておりました。ご承知のとおり、本校校舎は、築40年以上を経て老朽化が進み、決してよい環境とはいえません。この点については、絶えず関係機関(旭川市教育委員会)へ改善を要請しております。また、この冬は少しでも寒さを和らげるため、学校配当の予算を遣り繰りして廊下の一重ガラス窓の全てにビニルを貼りました。限られた条件の中でも最善を尽くすように全職員で協働して取り組んでおります。

さらに、保護者の皆様と学校評議員の皆様からは、本年度の教育実践の成果や子供たちの成長と変容について、肯定的、共感的なご意見を多数いただきました。世の中の価値観や教育観が多様化している中で、本校の方針や実践にこれほどまでに深いご理解とご賛同をいただけることは極めて希なことで、大変心強く感じております。**ご家庭と地域の皆様からの信頼があるからこそ、子供たちは学校の指導を信じて健やかに育ち、学校はそんな子供たちの成長に確かな手応えを感じて、一層充実した教育活動を推進できるのです。**本校では、これからも、この相乗効果を大切にしていまいります。

